

テーマ 生徒と共に

岐阜市立岐阜中央中学校PTA

会長 松尾 真吾 校長 森 社
長村 吉章 森 紀子
高田 美喜子 清田 育子
桑原 有希子

【はじめに】

「私たちの願いは何も聞いてもらえないんです」
「他の中学生徒会が何をやっているか知りたい」

PTA・学校・生徒会の3者による「生徒と語る会」での、生徒会役員の叫びが、岐阜中央中PTAの実践発表の内容に大きな影響を与えました。

「生徒たちは、こんなに真剣に学校のこと、地域のことを考えている。そんな生徒たちに恥ずかしくないように、私たちも本音で発表しよう」、「生徒たちの考えを他の学校のPTA会員にも聞いてもらおう」、「きれいごとを並べるのではなく、他の学校のPTA会員のためになる発表をしよう」、「岐阜市PTA実践発表会に一石を投じるような、斬新な発表にしよう」

実践発表会前には、「岐阜中央中PTAの発表は危ない」と心配する声の一部であったようですが、こんな事情があったことをご理解いただきたいと思います。

【岐阜中央中学校PTAとは】

- 1 岐阜中央中は、金華・京町・明德・本郷の4つの地域で構成されている平成24年に開校したばかりの新しい学校です。岐阜中央中PTAには、旧伊奈波中、旧明郷中のPTAの運営方法が混在していて、組織を運営するだけで精一杯ですので、自信をもって皆さんに披露できる実践活動はありません。
- 2 岐阜中央中PTAでは、誰も覚えてくれないような長々としたスローガンを廃止し、「生徒と共に」の5文字を行動指針にして活動しています。これによって、PTAの活動方針を、会員、学校、生徒たちに明確に伝えることができました。
- 3 岐阜中央中PTAでは、校長先生はじめとする学校側の協力があってこそ、PTA活動は円滑に進められるものだと考えています。このため、PTA実践発表会史上初めて、校長先生にもご登壇いただきました。
- 4 中学生は、子どもから大人になろうとしている、人生の中でも、とても重要な時期です。このため、岐阜中央中PTAは、会員である保護者のことはあまり考えず、生徒たちの成長を目的として活動しています。

【生徒と語る会】

最も力を入れたPTA行事は、「生徒と語る会」です。PTA、学校、生徒会が、いろいろなテーマで自由に話し合いをします。平成25年度は3回開催し、「こんなことがしたい」、「この校則は変えて欲しい」といった生徒の考えを聞き、それに対する保護者や学校の意見を交換しました。この会によって、生徒たちの希望する夏季に体操服での授業が実現するなど、生徒たちが自分たちも学校づくりに参加していることを実感でき、学校が目指す生徒の「自立」のためには非常に効果的な会合です。

「生徒と語る会」での生徒会長のまとめの言葉「今まで私たちの考えは何も聞いてもらえなかったから、考えを聞いてもらえただけで、充分うれしいです。今日の生徒たちは本当にいい顔をしています。『生徒と語る会』を継続してください。」が、この会の成功を物語っています。

生徒の真剣な姿勢に、PTAも感化され、生徒の願いを少しでも実現させてあげたいと思っています。また生徒が自由に意

見を言える場を一緒につくっていただいた学校側には本当に感謝しています。

【お弁当の日】

開校1年目から行っているのは「お弁当の日」です。子どもたちが自分でお弁当をつくってきて、見せ合いながら楽しく食べる様子は、微笑ましくもあり、大人に近づいたことを感じるひと時です。

岐阜中央中では「お弁当の日」を、ただお弁当をつくって食べる日とは考えていません。今年は、食育に関する保護者向け、生徒向けの講演会を行い、どうして「食」が大切なのかを学んでから、お弁当を作りました。

【地域・小学校PTAとの連携】

中学校PTAは小学校PTAに比べて大きな活動はできません。岐阜中央中でも、中学校PTAの活動の限界を感じています。このため小学校PTAと連携して活動することは重要です。岐阜中央中では、校区内の岐阜小、明郷小、さらには、金華・京町・明德・本郷の4つの自治会や地域の皆さんの協力いただき、岐阜中央中校区という広い範囲で、「あいさつ運動」、「地域清掃」を行っています。3つの学校、3つのPTA、4つの地域、そして3世代が一緒に取り組むことは、今後の地域活動の模範ではないかと考えています。

【まとめ】

私たちは「PTA」、「PTA」と簡単に口にしますが、PTAというのは、本来子どもたちのために存在しているものであり(=for children)、「P」と「T」が「associate」して、子どもたちと一緒に活動していく(=with children)ということ、忘れてはけないと思います。

岐阜中央中PTAでは、「生徒と共に」で育った生徒たちが、20年、30年後に、この地域のリーダーになって活躍してくれることを楽しみに、今後もPTA活動を行っていきます。

実践発表終了後、いくつかの学校のPTAから「学校側が協力してくれない」、「学校とPTAがうまくいっていない」という相談を受けました。そんな時には、「児童と語る会」、「生徒と語る会」をお奨めします。みんなで語ることが大切です。「対市要望」も、子どもたちにアンケートをとって、子どもたちの声を伝えればいいのに、、、